



挑友真
戦愛理

豊岡中だより

第5号

磐田市立豊岡中学校 令和5年8月28日発行

2 学期始業式「あなたならどう考えるか」

校長 鈴木由佳子

いよいよ2学期がスタートです。今年の夏休みはどうでしたか。この夏は、なんと言っても「暑い!!」です。2023年の7月は、「観測史上最も暑い月」でした。国連のグテーレス事務総長は、「地球は沸騰化の時代」に入ったとも言っています。世の中の変化は本当に激しいですが、急激な地球温暖化もその一つだと思います。いろいろなことが変化し、今まででは考えられないことが起こる予測困難な時代だからこそ、「今まではこうだった」という固定観念や思い込みで物事を見るのではなく、自分の考えをしっかりと持つことが大切だと思います。

そこで、今日は、アメリカに伝わる有名なたとえ話を紹介します。「南の島に派遣された靴のセールスマン」の話です。

靴を売る会社に、AさんとBさんという2人のセールスマンがいました。この2人が勤めるのは、別々のライバル会社です。あるとき、この2人が、遠く離れた南の島に、靴のセールスに派遣されました。目的は、もちろん靴を売ることです。2人とも、やる気いっぱい島を訪れました。ところが、長い時間をかけて島に着くと、2人にとって予想外の状況が待ち受けていたのです。さて、予想外の状況とは……。

島の人たちを見ると、何と、皆、靴を履いていない、つまり裸足だったのです。それを見た2人のセールスマンは、会社に報告をすることになります。もし、あなたがこのセールスマンだったら、会社にどんな報告をしますか。少し考えてみてください。

Aさんは急いで会社に報告しました。「とんでもないところへ来てしまいました。我々にはまったく用がありません。だって、誰も靴を履いていないんですから。」と。

一方のBさんも、現地の人たちを見て、興奮した様子で会社に連絡をしました。「ここはすばらしいところです。島の人たちは靴を履いていません。靴のよさを知らせたら、たくさんの靴が売れます。至急ありったけの靴を送ってください。」と。

このAさんとBさんの反応を、皆さんはどう思いましたか。皆さんの考えはどうだったでしょうか。同じ状況でも、その人の捉え方によって、全く違う判断をし、全く違う行動をします。そして、結果も、おそらく大きく違ってくことと思います。自分が置かれた状況を「ピンチ」と捉えるか「チャンス」と捉えるか、捉え方はその人次第です。「未来は変えられる」と思うか思わないかによって、人の取り組みは随分変わってきます。そうであるのなら、できるだけ前向きに捉えて取り組んでいきたいですね。きっと、そこには、自信がついた自分、成長した自分が待っている。私はそう思います。

そうはいっても、思うようにいかないときやポジティブに考えられないときが誰にでもあります。「もうだめだ」と思ったときは、少し立ち止まったり、周りの助けを借りたりする。それも、生きていく上でのたいせつな力です。先生たちも、そのお手伝いを惜しみなくしていきます。

今日から始まる2学期も、いろいろなことが待ち受けていると思います。皆さんにとって、今まで考えもしなかったことに気づいたり、感じもしなかったことに共感したりして、自分の知識や価値観、感性の広がりを実感する瞬間にたくさん出会える2学期になることを願っています。



磐周大会・県大会

磐田部活(陸上)

女子2年 800m	第3位	中村菜々美
女子共通 1500m	第4位	中村菜々美
男子共通 400m	第8位	森川玲伊
男子走幅跳	第4位	山内星和

磐田部活(陸上)の磐周大会と県大会の男子卓球部個人戦の結果です。卓球の個人戦では、東海大会に出場することができ、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。

男子卓球部

県大会個人戦 村松結人 12位

東海大会出場

ラテン打楽器クリニック

サルサバンド「オルケスタ・デ・ラ・ルス」のメンバーで豊岡中学校出身の鈴木ヨシロー氏が、吹奏楽部と豊岡太鼓のメンバーをラテン打楽器クリニックに招待してくれました。「かたりあ」

のホールのステージ上で行いました。ラテン音楽の歴史や楽器のルーツなどを説明していただき、ラテン音楽の奏法体験を行ったり、デモ演奏を聴いたりしました。間近でプロの方のお話や演奏を聴くことができ、参加した生徒たちにとって有意義な体験となりました。



愛校作業(2年生)

8月27日(日)に2年生の生徒と保護者による愛校作業が行われました。校庭の草刈り、自転車置き場の落ち葉拾い、部室棟西側側溝の土砂取り除き等の作業を行いました。校庭がとてもきれいになりました。刈った草の量は、ゴミ袋129袋にもなりました。暑い中、ありがとうございました。



豊岡中学校のホームページのアドレスです。QRコードです。→ → →

↓ ↓ ↓

<https://toyooka-j.city-iwata.ed.jp/>



Email : toyooka-j@city-iwata.ed.jp

TEL:62-2085

FAX:62-5962

文責:小金澤克仁(教頭)